

社団法人 日本補綴歯科学会 *Japan Prosthodontic Society*

発行人 平井敏博 編集 広報・社会連携委員会

〒 170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9

社団法人 日本補綴歯科学会

Tel 03-5940-5451 Fax 03-5940-5630



Letter for Members No.28 2008

<http://www.hotetsu.com/> 2008.4.10 発行

《コンテンツ》

(社)日本補綴歯科学会はこの1年	共催学術大会	3
および今後の学会活動	支部学術大会報告	3
国際補綴歯科学会名古屋2008	関連学会案内	7
第1回日本、中国、韓国補綴歯科学会		

(社)日本補綴歯科学会はこの1年 および今後の学会活動

社団法人 日本補綴歯科学会
副理事長 古谷野 潔

年度末を迎え、会員の皆様におかれましては何かとあわただしい日々をお過ごしのことと思います。「健康科学を基盤とした歯科補綴学の構築」を基本方針に掲げた平井執行部がスタートして、早くも1年が過ぎようとしています。この機会に、この1年の活動を振り返り、今後の活動について報告させていただきたいと思います。

昨年は、5月の神戸での116回学術大会(井上宏大会長)時に、本会がホストとなって、第5回 Asian Academy of Prosthodontics を併催しました。また、10月には、東京台場にて、Greater New York Academy of Prosthodontics と本会との第2回のジョイントミーティング(赤川安正大会長)を開催しました。いずれも多くの参加を得て、盛会のうちに終えることができました。この場を借りて、会員諸氏のご協力に感謝申し上げます。これらの国際交流活動は、会員に国際的な学術交流の場を提供するとともに、本学会がアジ

アの補綴歯科をリードしていくという戦略の一環でもあります。これまでに、本会は韓国補綴歯科学会(Korean Academy of Prosthodontics : KAP)と学術交流を行い、すでに3回のジョイントミーティングを開催してきました。また、2006年には中国補綴歯科学会(Chinese Prosthodontic Society : CPS)とも交流協定を結びました。本年6月に名古屋にて117回学術大会(田中貴信大会長)が開催される機会に、韓国および中国の補綴学会を招き、従来の2国間ではなく、新たに3カ国間交流をスタートすることとしました。今後は2年に一度、3カ国が持ち回りでホストとなって、3カ国ジョイントミーティングを開催することになります。この3カ国交流を本会が提唱し、日本で記念すべき第1回を開催することに大きな意義があります。会員の皆さん、名古屋では国際セッションにも是非積極的にご参加ください。また、本年7月にトロントで開催されるIADRでは、佐々木啓一副理事長が提案し採択された本会とIADR Prosthodontic Groupの共催シンポジウムが開催されます。こちらにも多くの会員の参加をお待ちしています。

海外の学会との交流以外にも国際的な取り組みが進もうとしています。昨年3月の総会時に櫻井薫教授が International Journal of Prosthodontics の Workshop への、また佐々木啓一教授が Journal of Oral Rehabilitation の Workshop への参加報告をされたことを覚えておられる会員も多いと思います。これらの Workshop の日本開催についても検討を進めたいと考えています。実現の暁には是非とも多くの会員の参加をお待ちしています。

本会が、赤川前理事長時代から取り組み、平井理事長も引き続き取り組んできた大きな課題として「補綴歯科専門医」の広告開示の認可の問題があります。平井執行部では、「運営研修部会」と「認定部会」からなる「専門医制度委員会」を新設し、認定に向けて取り組んできましたが、近い将来に良いニュースが聞けるのではないかと期待しているところです。また、専門医制度委員会では、専門医の質の向上に向けて、筆記試験の導入を検討しているところです。今後、筆記試験に関して重要なアナウンスがなされるものと思いますので、お見逃しなきよう、注視していただければ幸いです。

本会は、学術や教育と並んで、わが国における補綴歯科領域の医療についても、これをリードし、情報発信をしていく必要があります。平井執行部では、補綴歯科臨床の健康に果たす役割に関する科学的根拠を収集、蓄積し、学会の意見をわが国の歯科医療制度・政策に反映させるために、「医療問題検討委員会」「社会保険委員会」および「ガイドライン委員会」を統括する「医療委員会」と、学会をあげて研究を企画し、実行するために「研究企画推進委員会」を新設しました。

ちょうど相前後して、厚労省においても歯科におけるガイドラインの検討委員会が設置されました。また、日本歯科医学会でも、診療ガイドライン策定のためのプロジェクト研究費が設けられました。本学会は今年度の3つの課題のうち、「顎関節症」および「咀嚼・嚥下・発音の機能補助床」という2課題に採択されました。これらについては「医療委員会」「研究企画推進委員会」および「学術委員会」が中心になって対応をしていく予定です。

今期はまた、志賀 博編集担当理事のもと、本

会の英文誌、Prosthodontic Research and Practice の Medline 収載に向けて尽力してきました。紙面の都合で詳しい説明は割愛しますが、1学会が複数の雑誌を Medline 収載することは、現在では事実上不可能であることが判明したことから、本会の和文誌である「補綴誌」と英文誌である「PRP」を統合することとしました。将来的にはこの統合誌を英文誌として育てていくことになるかもしれません。その場合、日本語での会員への情報提供や学術情報の共有をどのように行っていくかも併せて考えていく必要があります。この面についても会員のご理解をいただければ幸いです。

まだまだ、書きたいことがあります。紙面の都合もありますので、このあたりで稿を閉じたいと思いますが、最後に公益法人申請について触れておきます。国が進める公益法人制度改革に伴い、本会は、社会に開かれた公益性をもった学会として、現在の社団法人から公益法人へと変わる予定です。これに伴い、本会はさらに社会に開かれた学会となり、公益性を高める努力をする必要があります。また、会計を始め学会運営の具体も変更を余儀なくされる部分が出てきます。この点についてもご承知おきいただきたいと思います。

平井理事長を先頭に執行部一同、本会のさらなる発展に尽力する所存ですが、そのためには会員のご理解とご協力が不可欠です。今後の活動について、ご質問、ご提案、ご意見を積極的にお寄せいただきますようお願いいたします。

Happy Smiles & Heartful Communication

デンタルエステをはじめませんか MORITA

- 審美性を追求し、自然感のある透明性と優れた色調再現性を実現しました。
- 操作性と研磨性を向上しました。
- 専用のガラスファイバー「EGファイバー」を用いることで、メタルフリーブリッジの製作を可能にし、臨床用途を拡大しました。

ハイスリッド セラミック
エステニア® C&B

標準価格 スタンドセット 128,000円
●医療機器承認番号 21500BZZ00534

製造販売元 クラレメディカル株式会社
販売元 株式会社モリタ 東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL: 03-3834-6161
大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL: 06-6380-2525

●掲載商品の標準価格は、2006年4月21日現在のものです。
標準価格には消費税等は含まれておりません。

www.dental-plaza.com

国際補綴歯科学会名古屋 2008

第1回日本,中国,韓国補綴歯科学会共催学術大会

大会長 田中貴信

社団法人日本補綴歯科学会は今順調に発展を続けておりますが、常日頃、役員を始め会員諸兄の本会に対するご尽力に心から敬意を払う次第でございます。

さて、既にご案内のように、第117回学術大会は愛知学院大学を主管校として、平成20年6月6日(金)、7日(土)、8日(日)の3日間、名古屋国際会議場にて開催されることになりました。この大会のお世話係を代表いたしまして、会員の皆様方に一言ご挨拶申し上げます。

昭和8年の設立以来、実に85年という長い歴史を有し、現在会員数6,700名を擁した、わが国の歯科医学の基幹をなす日本補綴歯科学会に關しまして、年1回の学術大会のお世話をさせていただきますことは、我々にとりましても誠に光栄なことでございます。会員の皆様方にとりましても、このような大会に相応しい、有意義な情報交換の機会となることを願っております。

特に今回は、関係者のご尽力により、中国および韓国補綴歯科学会との共催学会として開催されることになりました。両国はもちろんのこと、他の東南アジア諸国、米国、ヨーロッパからも多数の参加者を予定しており、本大会が日本補綴歯科学会の歴史に新たな1ページを加える、エポックメイキングとなるものと確信しております。

具体的なプログラムの内容につきましては、皆木省吾委員長を中心とする学術委員会におきまして、多彩な内容を企画していただきました。しかし、本部の企画が増えると、必然的に一般演題の時間を圧迫することになることも、また事実であります。学術大会の運営には幾多の考え方があるでしょうが、今回のお世話係の私どもといたしましては、「聞く学会から聞かせる学会へ」をモットーにしたいものと希望しております。「劇場型」の学会も一般市民を含めた沢山の人々を集めるのには有効かもしれませんが、専門家の一員として、例えささやかな所見であっても、自分達の日頃の

研究成果・臨床体験を仲間に紹介し、忌憚のない評価・批判を受けながら、明日の歯科補綴学のために不断の発信を続けてゆくこと、すなわち、専門学会本来の使命を果たす努力も必要でありましょう。

現在、本学補綴学講座の4教授が実務担当として、諸準備に奮迅の努力をいたしております。季節とすれば生憎梅雨の不安もある時期に当たり、皆様方のお足元も心配ですが、本大会を看板どおりの充実したものとするために、沢山のご出席をいただけますよう、会員諸兄の格別のご協力をお願い申し上げます。

支部学術大会報告

平成19年度中国・四国支部学術大会



特別講演：支部長の皆木省吾先生より濱田泰三先生（写真上）と坂東永一先生（写真下）へ感謝状の贈呈

平成19年度中国・四国支部学術大会は、9月1日(土)、2日(日)の両日、井上三四郎先生を大会長として開催されました。

1日(土)はホテルクレメント徳島で市民講座「ストレスと補綴(ほてつ)一口をみればストレスがわかる」が開講され、徳島大学ストレス研究センター長の六反一仁先生にご講演いただきました。



生涯学習公開セミナー：講師の先生方(左から、和気裕之先生、羽田 勝先生、中野雅徳先生)

た。2日(日)は徳島県歯科医師会館に場所を移し、「歯科補綴を次世代に引き継ぐ」をテーマとした特別講演では、濱田泰三先生(広島大)と坂東永一先生(徳島大)から後輩へ熱いメッセージが送られました。また、昨年度に引き続き行われた生涯学習公開セミナーでは「顎関節症 こんな人が来たら?」をテーマにして、中野雅徳先生(徳島大)、羽田 勝先生(徳島大)、和気裕之先生(横浜市)にご講演いただき、活発な討論が行われました。その他、一般口演8題、ポスター発表6題、専門医ケースプレゼンテーション6題、参加者は2日目だけで217名を数え、たいへん充実した支部学会となりました。

支部長の皆木省吾先生、講師の先生方、ご後援をいただきました(社)徳島県歯科医師会の皆様をはじめ、大会にご理解ご尽力いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

また、本学術大会に先立ち8月31日(金)、9月1日(土)には、徳島県鳴門市のホテルルネッサンスリゾート鳴門にて徳島大学・坂東永一教授を校長とする「補綴歯科サマースクール2007 in 鳴門」が開催されました。参加者からは「たいへん有意義であり、今後も続けて欲しい」という意見が多く、成功裏に閉校しました。他支部でもこのような企画が活発に行われることを期待します。なお、サマースクールの詳細はLetter for members No. 26に掲載されております。

(徳島大院口腔顎顔面補綴学分野 永尾 寛)

平成 19 年度東京支部学術大会

平成 19 年 12 月 1 日(土)に五十嵐順正(医歯大)を大会長として第 11 回東京支部学術大会ならびに生涯学習公開セミナーが開催されまし



生涯学習公開セミナー表彰にて。左から西堀先生、谷口先生、古屋支部長

た。学術大会では、一般口演 16 題と認定医ケースプレゼンテーション 6 題が参加し、馬場一美教授(昭和大)が「睡眠時ブラキシズムと補綴臨床一欠損歯列における力のコントローラー」と題して特別講演をされました。学術大会に引き続いて開催された生涯学習公開セミナーでは、「歯周処置と補綴処置のコラボレーション」をメインテーマとして、谷口威夫先生(東海支部)が「補綴前処置としての歯周治療の大切さ」、西堀雅一先生(東京都開業)が「歯周治療を基礎とした治療計画の立案」と題して講演をされました。盛りだくさんな内容となり盛会裡に終了しました。

(大会長 五十嵐順正)

平成 19 年度東海支部学術大会

平成 19 年度(社)日本補綴歯科学会東海支部総会ならびに学術大会が岐阜県歯科医師会、三重県歯科医師会の後援により平成 19 年 12 月 9 日(於 朝日大学歯学部 1 号館)に倉知正和(朝日大)を大会長として、また、前日(8 日)には市

NC VERACIA SHOFU

ナノテクノロジーと
機能的形態が融合した 新人工歯 硬質レジン歯

NC Veracia

医療用具承認番号 21100BZZ00751

NC ヘラシア アンテリア

硬質レジン歯(前歯用) 1組…¥780 色調: A1, A2, A3, A3.5, B2

医療用具承認番号 21200BZZ00272 形態: 上顎5形態、下顎3形態

NC ヘラシア ポステリア

硬質レジン歯(白歯用) 1組…¥1,040 色調: A2, A3, A3.5, B2

形態: 上下顎各2種

価格は2002年11月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。

株式会社 松風
日本の歯科医療に貢献する
本社 ● 〒605-0983 京都市東山区福福上 湯松町11-TEL.075/561-1124代

民フォーラムと生涯学習公開セミナーが開催されました。

学術大会では、特別講演が「高齢社会における補綴歯科治療」(座長：倉知正和・朝日大、講師：藤原 周教授・朝日大)と題して、高齢者の心理・精神・身体特性を十分に把握して、その本質を知ったうえで治療することの重要性を提言されました。一般口演は 17 題あり活発な討議がされました。また、専門医申請ケースプレゼンテーション 2 題の発表が行われました。

市民フォーラムでは、メインテーマを「食べて増進、健康・体力」とし、山内六男教授(朝日大)は「補綴歯科専門医の関わり」、佐藤裕二教授(昭和)は「失われた歯と健康を取り戻す」と題して、そして全日本男子ホッケー代表監督の長屋恭一先生(岐阜県立岐阜総合学園高等学校教諭)は「世界を目指す日本男子ホッケー」と題して、今までのホッケー人生における数々のエピソードを交えて、五輪出場に賭ける意気込みを話していただきました。

生涯学習公開セミナーは、メインテーマを「マグネットデンチャーを成功させるために」とし、都尾元宣教授(朝日大)は「マグネットデンチャーの設計」、星合和基准教授(愛院大)は「術後から見たマグネットデンチャー」、そして黒岩昭弘教授(松歯大)は「マグネットデンチャーの補綴臨床における可能性」と題し、部分床義歯の維持装置としての磁性アタッチメントの基礎、術後の調査結果、そして今後の可能性という、一連の流れを詳細に解説していただきました。いずれも活発な討議が行われ、成功裡に閉会しました。

(大会長 倉知正和)

平成 19 年度西関東支部学術大会

平成 20 年 1 月 13 日(日)に平成 19 年度西関東支部総会・学術大会がパシフィコ横浜アネックスホールにて、細井紀雄教授(鶴見大)を大会長として、神奈川県歯科医師会(高橋紀樹会長)の後援を頂き開催されました。午前中は一般演題 13 題、専門医申請ケースプレゼンテーション 3 題の発表があり、脳機能、材料、統計調査など多岐にわたる研究成果が報告されました。

午後に開催された生涯学習公開セミナーは「歯



細井大会長の挨拶



専門医申請ケースプレゼンテーション

科医師とコ・デンタルスタッフのコミュニケーション」をテーマに、歯科医師(天川由美子先生)、歯科技工士(高橋 健先生)、歯科衛生士(土屋和子先生)の各先生がそれぞれの立場からチーム医療を成功させるための取り組みについて詳説され、会員の高い関心を集めました。

また、市民フォーラムでは「咀嚼と食育」をテーマに、歯科医師であり料理研究家の田沼敦子先生と豊田 實教授(神歯大)が咀嚼の重要性と義歯との付き合い方について講演され、参加者に補綴歯科専門医の役割を理解していただきました。当日

「GC」

ジーシーインプラントシステム™ Re(アール・イー)™
2つのシステムが臨床の幅を広げます。

GC IMPLANT SYSTEM Re
external implant
SETiO ex
internal implant
GENESiO IN

高度管理医療機器 20500BZZ00868000 ジーシーインプラント
高度管理医療機器 21400BZZ001020000 ジーシーオールインプラント Re
高度管理医療機器 21400BZZ000680000 ジーシーインプラント Re

株式会社 ジーシー www.gcdental.co.jp/

は予想された降雪もなく、231名の会員が参加し、活発な質疑応答が行われ成功裡に終了しました。

なお、平成20年度の西関東支部は木本克彦教授（神歯大）を大会長として開催される予定です。
（支部長 阿部 實）

平成19年度関西支部学術大会



会場の大阪大学中之島センター



満員の口演会場



生涯学習公開セミナーでの質疑応答

平成20年1月27日（日）、大阪大学中之島センターにおいて、平成19年度（社）日本補綴歯科学会関西支部総会が、大阪府歯科医師会の後援により、大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座前田芳信教授を大会長として開催されました。

午前中は一般口演10題が発表され、活発なディスカッションが行われました。午後は9題の

ポスター発表と2名の専門医ケースプレゼンテーションの質疑応答があり、会場も満員状態であり大盛況でした。

昼休みには、講師に高端泰伸先生（神戸市開業）をお招きし、「磁性アタッチメントのスキルアップ」をテーマとしてランチョンセミナーが開催されました。高端先生は、開業医としての臨床におけるさまざまなノウハウを多く紹介され、明日からの臨床に役立つ有意義な講演でした。

また午後2時より生涯学習公開セミナー「欠損歯列の長期経過～これ以上欠損を拡大しないために～」が開催されました。補綴歯科医にとっては非常に重要なテーマであったため、こちらも会場は満員でした。座長は前田芳信先生（大阪大）、演者に池邊一典先生（大阪大）、牛島 隆先生（熊本市開業）、松井徳雄（銀座ペリオインプラントセンター、貴和会歯科診療所）の3名を迎え、大学において臨床研究で活躍する先生と臨床の第一線で活躍する先生方が自分達のフィールドからの情報を非常に分かりやすく講演されました。その後の質疑応答では、このような臨床研究に関連するデータを国民に開示していく必要性などにも言及され、まさに研究と臨床の両面からみた欠損拡大のエビデンスの確立についての貴重なセミナーでした。

本大会は日曜日1日だけの開催でしたが、充実した内容の発表や講演が多く、参加者数も300名を数え非常に有意義な大会であったと感じました。

なお、平成20年度関西支部会は、平成21年2月8日に和歌山市で開催予定です。

（大阪大歯附属病院咀嚼補綴科 松田謙一）

平成19年度東関東支部学術大会

平成20年3月16日（日）に、東関東支部（櫻井 薫支部長）の平成19年度総会ならびに第11回学術大会が茨城県歯科医師会の第16回茨城県歯科医学大会との共催により、水戸市の茨城県総合福祉会館において開催されました。日本大学松戸歯学部口腔機能学講座の川良美佐雄教授を大会長として開催されたこの学会では、一般演題16題、認定医申請ケースプレゼンテーション3題に加え、市民フォーラムならびに生涯学習公開セミナーが併催されました。市民フォーラムでは、



茨城県歯科医学会でのテーブルクリニック

東京都老人医療センターの平野浩彦先生に「お口の機能から介護を考える」と題して、介護と補綴にまつわる口腔機能の回復のお話をわかりやすく解説していただき、会場の一般の方との質疑応答も活発に行われました。また生涯学習公開セミナーは「補綴を行うにあたって」というテーマのもと、歯周病専門医の立場から、日本大学松戸歯学部歯周病学講座小方頼昌教授が、補綴歯科専門医の立場から茨城県守谷市開業の古谷 容先生が、それぞれ熱のこもった講演をされました。また今回は、共催した第16回茨城県歯科医学会にテーブルクリニックの時間をいただき、補綴学会から東京歯科大学齋藤文明先生、明海大学歯学部下川原忍先生、日本大学松戸歯学部河相安彦先生の3人の講師を派遣し、茨城県歯科医師会員と活発なディスカッションがありました。このような歯科医師会との連携は貴重な経験であり、社会連携の一環としてきわめて有意義な機会となりました。

(日大松戸口腔機能学 小見山 道)

関連学会案内

第51回日本歯科理工学会学術講演会

日 時：平成20年4月26日(土)、27日(日)
会 場：鶴見大学記念館
大会長：平野 進(鶴見大学歯学部歯科理工学講座)

連絡先：〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3
鶴見大学歯学部歯科理工学講座
第51回日本歯科理工学会学術講演会
準備委員会(準備委員長：野本理恵)
Tel：045-581-1001

Fax：045-573-9599

E-mail：nomoto-r@tsurumi-u.ac.jp

<http://www.soc.nii.ac.jp/jsdmd/riko511.html>

第19回日本老年歯科医学会学術大会

日 時：平成20年6月19日(木)、20日(金)
会 場：岡山コンベンションセンター
大会長：皆木省吾(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科咬合・口腔機能再建学分野)

連絡先：〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3
(株)メット
第19回日本老年歯科医学会学術大会
Tel：086-463-5344
Fax：086-463-5345
E-mail：gero19@med-gakkai.com
<http://www.med-gakkai.com/gero19/>

第19回日本スポーツ歯科医学会学術大会

日 時：平成20年7月12日(土)、13日(日)
会 場：北海道歯科医師会館
大会長：戸塚靖則(北海道大学大学院歯学研究科口腔顎顔面外科学教室)

連絡先：〒060-8586 札幌市北区北13条西7丁目
北海道大学大学院歯学研究科口腔顎顔面外科学教室
第19回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会事務局
Tel & Fax：011-706-4283
E-mail：jasd@den.hokudai.ac.jp
<http://www.soc.nii.ac.jp/jasd/taikai.htm>

第4回 Asian Academy of Osseointegration (AAO) 学術大会

日 時：平成20年7月18日(金)、19日(土)
会 場：広島県民文化センター
大会長：赤川安正(広島大学大学院医歯薬学総合研究科先端歯科補綴学研究室)

In-Ho Cho (韓国ダンコック大学歯学部
補綴学教室)

連絡先：〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3
広島大学大学院医歯薬学総合研究科先端
歯科補綴学研究室内 AAO 学会事務局
E-mail: hiroshima-ec@or.knt.co.jp
http://www.lhweb.jp/knt/aao2008/

第 21 回(中法)日本顎関節学会学術大会

日 時：平成 20 年 7 月 26 日(土), 27 日(日)
会 場：リーガロイヤルホテル大阪
大会長：覚道健治(大阪歯科大学口腔外科学第二
講座)

連絡先：〒663-8501 大阪府中央区大手前
1-5-17
大阪歯科大学口腔外科学第二講座
第 21 回日本顎関節学会総会・学術大
会事務局(準備委員長：中嶋正博)
Tel: 06-6910-1510
Fax: 06-6910-1030
E-mail: tmj2008@cc.osaka-dent.ac.jp
http://www.congre.co.jp/jstmj21/

第 38 回(社)日本口腔インプラント学会学術大会

日 時：平成 20 年 9 月 12 日(金)~14 日(日)
会 場：東京国際フォーラム
大会長：相浦洲吉(関東・甲信越支部長)

連絡先：〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財
1-3-2 イーストアレイビル 4F
ヤナセ歯科医院
Tel: 048-476-0156
Fax: 048-471-0738
E-mail: 38th-jsoi@yanase-dental.com
http://www.shika-implant.org/

第 19 回日本歯科審美学会学術大会

日 時：平成 20 年 10 月 12 日(日), 13 日(月)
会 場：日本歯科大学新潟生命歯学部講堂・アイ

ヴィホール

大会長：加藤喜郎(日本歯科大学新潟生命歯学部
歯科保存学第 2 講座)

連絡先：〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-
43-9 駒込 TS ビル
(財)口腔保健協会コンベンション事業部
第 19 回日本歯科審美学会学術大会運
営事務局
Tel: 03-3947-8761
Fax: 03-3947-8873
E-mail: jaed19@kokuhoken.or.jp
http://www.kokuhoken.or.jp/19jaed

編集後記

今回で我々の委員会が作成したニュースレター
は 4 号目になりました。何とか 1 年間やってこ
られたのも、会員の皆様ならびに委員会メン
バーのお陰と感謝致しております。新年度に向
けてさらに充実したニュースレターをお届けし
たいと考えておりますので、今後とも変わらぬご
支援をお願い致します。

(広報・社会連携委員会ホームページ・
ニュースレター部会長 鱒見進一)

担当初年にあたりやや緊張いたしました。滞
りなく版を重ねることができました。会員の皆
様に感謝申し上げますとともに、今後もより良
き紙面作りにご協力よろしく願いいたします。

(広報・社会連携委員会 委員長 川良美佐雄)

社団法人 日本補綴歯科学会
広報・社会連携委員会
委員長 川良美佐雄
広報・社会連携部会
部会長 川良美佐雄 副部会長 水谷 紘
委員 池邊一典 岡根秀明 貞森紳丞
幹事 小見山 道
ホームページ・ニュースレター部会
部会長 鱒見進一 副部会長 塩山 司
委員 齋藤正恭 坂井貴子 田中昌博
幹事 有田正博
Tel: 093-582-1131
Fax: 093-582-1139
E-mail: m-arita@kyu-dent.ac.jp
〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴 2-6-1
九州歯科大学顎口腔欠損再構築学分野